



平成20年11月7日

各 位

会 社 名 日本アンテナ株式会社

代 表 者 名 代表取締役社長 瀧澤 豊

(JASDAQ・コード番号: 6930)

問 い 合 せ 先 取締役管理本部長 宇波 浩

TEL03-3893-5221

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月16日付当社「平成20年3月期 決算短信」にて公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。なお、配当予想につきましては、当期末1株あたり21円には変更ありません。

記

(金額の単位: 百万円)

平成21年3月期第2四半期累計期間 連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 |
|-----------------------------------|--------|--------|-------|--------|
| 前回予想(A) | 14,400 | 225 | 200 | 120 |
| 今回修正(B) | 14,289 | 196 | 330 | 335 |
| 増減額(B-A) | △111 | △29 | 130 | 215 |
| 増減率 | △0.8% | △12.9% | 65.0% | 179.2% |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期) | 13,955 | 116 | 221 | 87 |

平成21年3月期通期 連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 前回予想(A) | 32,000 | 1,250 | 1,200 | 700 |
| 今回修正(B) | 30,300 | 1,000 | 900 | 550 |
| 増減額(B-A) | △1,700 | △250 | △300 | △150 |
| 増減率 | △5.3% | △20.0% | △25.0% | △21.4% |
| (ご参考)前期実績 (平成20年3月期) | 31,992 | 1,634 | 1,818 | 405 |

平成21年3月期第2四半期累計期間 個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 |
|-----------------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 前回予想(A) | 13,400 | 100 | 150 | 90 |
| 今回修正(B) | 13,603 | 270 | 335 | 313 |
| 増減額(B-A) | 203 | 170 | 185 | 223 |
| 増減率 | 1.5% | 170.0% | 123.3% | 247.8% |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期) | 13,184 | 104 | 164 | 262 |

平成21年3月期通期 個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-------------------------|--------|-------|-------|-------|
| 前回予想(A) | 30,200 | 1,100 | 1,100 | 600 |
| 今回修正(B) | 29,000 | 1,000 | 1,000 | 600 |
| 増減額(B-A) | △1,200 | △100 | △100 | — |
| 増減率 | △4.0% | △9.1% | △9.1% | — |
| (ご参考)前期実績 (平成20年3月期) | 30,807 | 1,663 | 1,616 | 483 |

修正の理由

1 個別

(1) 第2四半期累計期間の業績予想

売上高につきましては、主に地上デジタル用薄型アンテナ、北米向け携帯電話用内蔵アンテナ等の販売が好調であったことから、前回予想より200百万円ほど上回る見込みであります。

営業利益につきましては、売上高の増加に加え、海外調達、海外生産へのシフトによる売上原価の低減等により、前回予想より170百万円ほど上回る見込みであります。

経常利益につきましては、営業利益の増加に加え、受取配当金の増加等により、前回予想より185百万円ほど上回る見込みであります。

四半期純利益につきましては、欧州地域再編に伴う法人税等調整額の減少等により、前回予想より220百万円ほど上回る見込みであります。

(2) 通期の業績予想

売上高につきましては、下期に入り建設工事全般の冷え込みによる工事売上の大幅な減少や、消費の冷え込みによる地デジ関連製品を中心とした販売の伸び悩み等により、前回予想より1,200百万円ほど下回る見込みであります。

営業利益ならびに経常利益につきましては、売上高の減少により前回予想よりそれぞれ100百万円ほど下回る見込みであります。

当期純利益につきましては、法人税等調整額の減少等により、当初公表通りの金額を見込んでおります。

2 連結

(1) 第2四半期累計期間の業績予想

売上高につきましては、海外を中心とした車載用アンテナの売上減少等により、前回予想より110百万円ほど下回る見込みであります。

営業利益につきましては、売上高の減少により、前回予想より30百万円ほど下回る見込みであります。

経常利益につきましては、連結相殺消去に伴う為替換算差額のプラス影響等により、前回予想より130百万円ほど上回る見込みであります。

四半期純利益につきましては、欧州地域再編に伴う法人税等調整額の減少等により、前回予想より215百万円ほど上回る見込みであります。

(2) 通期の業績予想

売上高につきましては、国内の工事売上の減少に加え、世界的な自動車販売の低迷による車載用アンテナの販売減少等により、前回予想より1,700百万円ほど下回る見込みであります。

営業利益ならびに経常利益につきましては、売上高減少の影響により、前回予想よりそれぞれ250百万円、300百万円ほど下回る見込みであります。

当期純利益につきましては、法人税等調整額の減少等の影響により、前回予想より150百万円ほど下回る見込みであります。

※ 上記の業績予想は、発表日現在における入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢、市場の需要動向、為替相場の変動等様々な要因によって予想とは異なる結果となる可能性があります。

以 上